

## 薩摩硫黄島の火山活動解説資料（平成 21 年 4 月）

福岡管区气象台  
火山監視・情報センター  
鹿児島地方气象台

噴煙活動はやや活発で、火山性地震回数はやや多い状態で経過しました。

今後、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 4 月の活動概況

## ・噴煙などの表面現象の状況（図 2、図 4）

硫黄岳山頂火口からの噴煙活動は、やや活発な状態で経過しました。噴煙は白色で、高さは 50 ～700m で推移しました。

27 日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳山頂火口から白色の噴煙が断続的に上がっているのが確認されました。

## ・地震、微動の発生状況（図 2、図 3）

地震活動は、引き続きやや多い状態で経過しました。

火山性地震の月回数は 1,630 回（3 月：514 回）でした。

火山性微動の発生はありませんでした（3 月：1 回）。

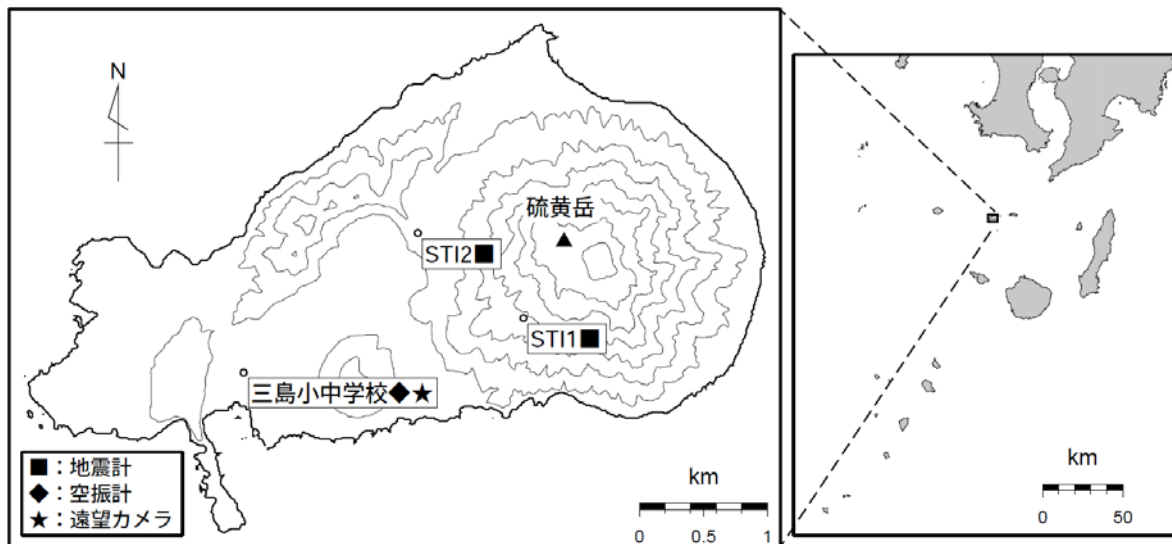


図 1 薩摩硫黄島 観測点配置図

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 10mメッシュ（火山標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）、福岡管区气象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 5 月分）は平成 21 年 6 月 9 日に発表予定です。

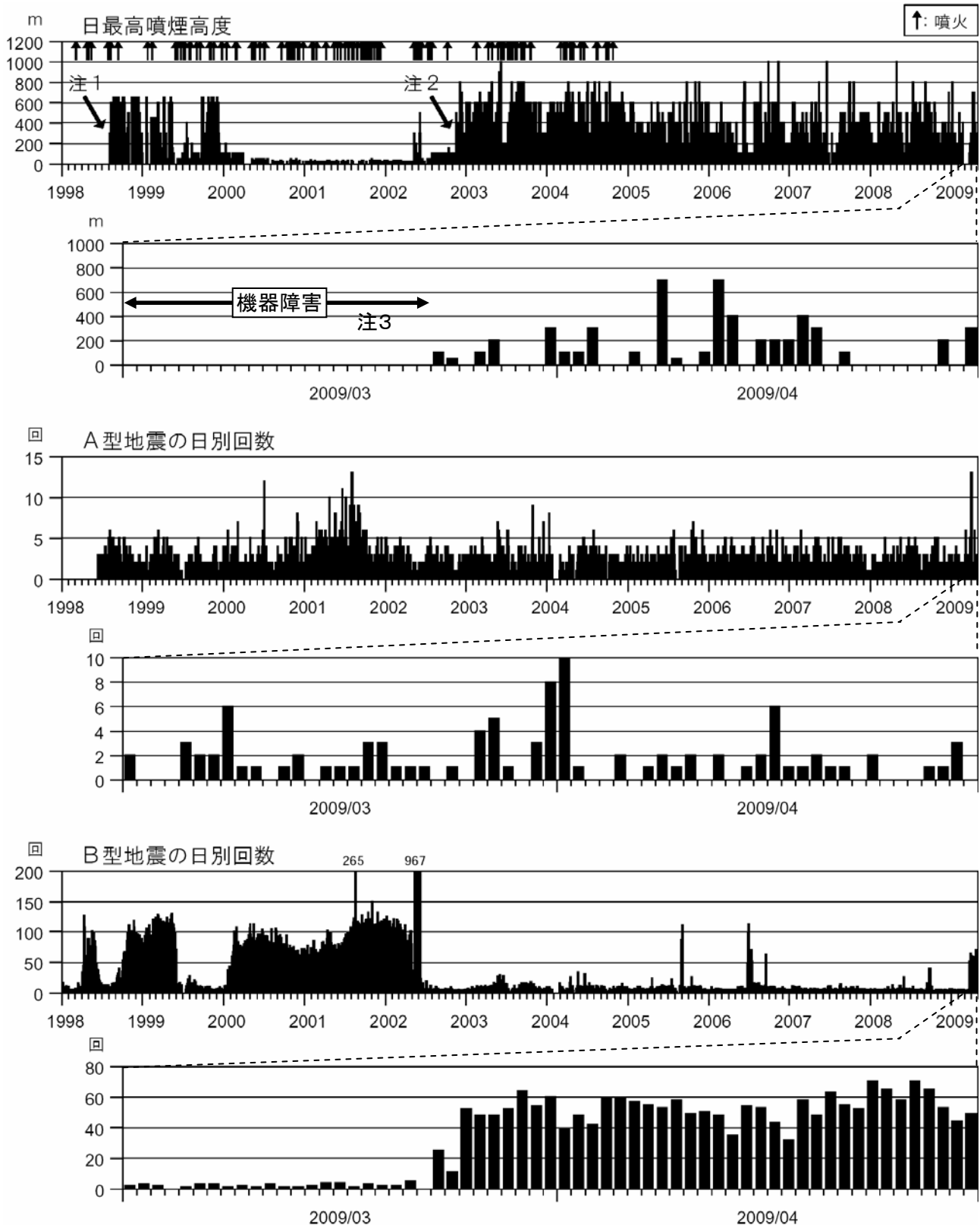


図2 薩摩硫黄島 火山活動経過図（1998年1月～2009年4月）

- ・噴煙は白色で、高さは50～700mで推移しました。
- ・A型地震は46回（3月：54回）でした。
- ・B型地震は1,584回（3月：460回）と増加しました。

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始。

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始。

注3 2009年2月23日から3月21日まで、遠望カメラ障害のため噴煙は不明。

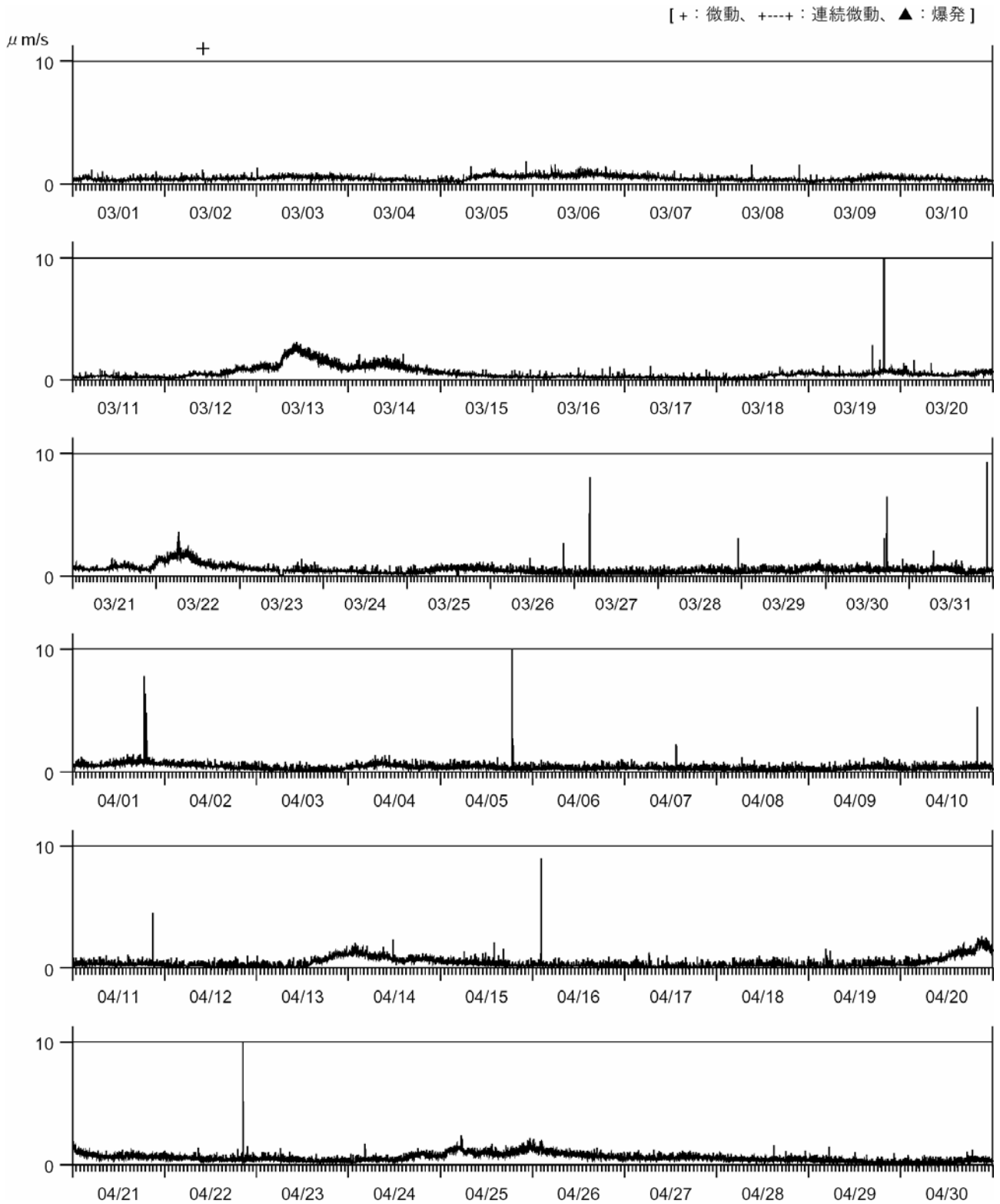


図3 薩摩硫黄島 1分間平均振幅の時間変化（ST11 上下成分）（2009年3月～4月）  
火山性微動の発生はありませんでした（3月：1回）。



2009 年 2 月 22 日（第十管区海上保安本部撮影）



2009 年 4 月 27 日（第十管区海上保安本部撮影）

図 4 薩摩硫黄島 硫黄岳山頂火口及び周辺の様況

27 日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳山頂火口から断続的に白色の噴煙が上がっているのが確認されました。